

OS名 ※4	Edition	動作確認済 Service Pack	統合 マネージャ	サブ マネージャ	エージェント (MR) ※14	サーバ エージェント (SA) ※7	検知 エージェント (DA) ※15	統合 コンソール ※12	Webコンソール (サーバー)	Webコンソール (クライアント)
Windows Server 2008 R2 ※6 ※11	Standard x64 Edition ※13	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise x64 Edition ※13	—	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○
Windows Server 2008 ※6 ※11	Standard (x86, x64) ※13	SP1 SP2	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise (x86, x64) ※13	SP1 SP2	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○
Windows Server 2003 ※6	Standard Edition	SP1 SP2	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise Edition	SP1 SP2	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○
	Standard x64 Edition ※13	SP2	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise x64 Edition ※13	SP2	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○
Windows Server 2003 R2 ※6	Standard Edition	SP2	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise Edition	SP2	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○
	Standard x64 Edition ※13	SP2	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise x64 Edition ※13	SP2	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○
Windows Small Business Server 2003	Standard Edition	SP1 SP2	○※1	○※1	○	○	○	○	○※1	○
	Premium Edition	SP1 SP2	○※1	○※1	○	○	○	○	○※1	○
Windows Small Business Server 2003 R2	Standard Edition	SP2	○※1	○※1	○	○	○	○	○※1	○
	Premium Edition	SP2	○※1	○※1	○	○	○	○	○※1	○
Windows Storage Server 2003	—	SP1 SP2	×	×	○	○	○	×	×	○
Windows Storage Server 2003 R2	—	SP2	×	×	○※10	○	○	×	×	○
Windows 2000	Professional	SP1 SP2 SP3 SP4	×	×	○	○	○	○	○	○
	Server	SP1 SP2 SP3 SP4	○	○	○	○	○	○	○	○
	Advanced Server	SP1 SP2 SP3 SP4	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○
Windows Powered NAS	—	—	×	×	○	○	○	×	×	○
Windows NT	Workstation 4.0	SP4 SP5 SP6a	×	×	○	○	×	○※3	○※3	○
	Server 4.0	SP4 SP5 SP6a	○※3	○※3	○	○	×	○※3	○※3	○
Windows 7	Enterprise (x86, x64)	—	×	×	○	×	○	○	×	○
	Ultimate (x86, x64)	—	×	×	○	×	○	○	×	○
	Professional (x86, x64)	—	×	×	○	×	○	○	×	○
Windows Vista ※5	Home Basic	—	×	×	×	×	×	×	×	×
	Home Premium	—	×	×	×	×	×	×	×	×
	Business	SP1 SP2	×	×	○	×	○	○	×	○
	Enterprise	SP1 SP2	×	×	○	×	○	○	×	○
	Ultimate	SP1 SP2	×	×	○	×	○	○	×	○
	Business 64-bit edition	SP1 SP2	×	×	○	×	○	○	×	○
	Enterprise 64-bit edition	SP1 SP2	×	×	○	×	○	○	×	○
Ultimate 64-bit edition	SP1 SP2	×	×	○	×	○	○	×	○	
Windows XP ※8	Home Edition	—	×	×	×	×	×	×	×	×
	Professional	SP1 SP2 SP3	×	×	○	○	○	○	×	○
	Media Center Edition	—	×	×	×	×	×	×	×	×
	Tablet PC Edition	—	×	×	×	×	×	×	×	×
	Professional x64 Edition	SP2	×	×	○	○	○	○	×	○
Windows Me ※9	—	—	×	×	×	×	×	×	×	
Windows 98	—	—	×	×	○	×	×	×	×	○
	Second Edition	—	×	×	○	×	×	×	×	○
Windows 95 ※9	—	—	×	×	×	×	×	×	×	

※1 ..... プレインストール済みの MSDE または SQL Server および SharePoint Server をアンインストールしてから、LanScope Cat用のデータベースをインストールすることで利用できます。

※2 ..... MSCS (Microsoft Cluster Server) に対応しているのはエージェント(MR)とサーバエージェント(SA)のみです。それ以外の機能では対応していません。

※3 ..... マネージャサーバ、統合コンソールを Windows NT 4.0 で構築する場合は、Service Pack 6a を適用してください。Windows NTは、Oracle Databaseに対応していません。

※4 ..... 上記の対応OS (MR・SA・DA以外) は日本語版のみ対応しております。エージェント(MR・SA・DA)は、英語版OSに対応しており、日本語OSの対応状況に準拠しています。

※5 ..... Ver6.0.0.0よりWindows Vista Service Pack1に対応しています。Ver6.3.0.0よりWindows Vista Service Pack2に対応しています。

※6 ..... Itanium-based Systemsには対応していません。SharePoint Servicesとは同居できません。インストールしないでください。

※7 ..... サーバエージェントに対応しているファイルシステムはNTFS形式です。FAT形式には対応していません。

※8 ..... Ver6.0.0.0よりWindows XP Service Pack3 に対応しています。

※9 ..... Windows 95 および Windows Meにつきましては、サポート対象外です。

※10 ..... Ver6.0.3.1のエージェント(MR)よりWindows Storage Server 2003 R2 に対応しています。

※11 ..... Oracle Database 10g Express Edition Release2はWindows Server 2008に対応していません。Ver6.2.0.0よりWindows Server 2008 Service Pack1 に対応しています。Ver6.3.0.0よりWindows Server 2008 Service Pack2 に対応しています。Windows Server 2008のServer Core インストールには対応していません。フルインストールしてご利用ください。

※12 ..... Oracle Databaseをご利用の場合は、ODACのインストールが必須です。

※13 ..... 64bitで動作するのは、SQL Serverのみです。Oracle Databaseは対応していません。

※14 ..... Webアップロードログの対応OSは、Windows 2000、Windows XP(32bit)です。

※15 ..... 検知エージェント(DA)は、Ver6.5.0.0よりWindows XP(x64)、Windows Server 2003 (x64)、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2に対応しています。

LanScope Cat データベース対応表

データベース/OS	Service Pack	Windows NT	Windows 2000	Windows 2003	Windows 2008	Windows 2003 x64	Windows 2008 x64	Windows 2008 R2 x64
SQL Server 2008 Standard Edition x64	SP1	-	-	-	-	○	○	○
SQL Server 2008 Standard Edition	SP1	-	-	○	○	○	○	○
SQL Server 2008 Express Edition x64	SP1	-	-	-	-	○	○	○
SQL Server 2008 Express Edition	SP1	-	-	○	○	○	○	○
SQL Server 2005 Standard Edition x64	SP3	-	-	-	-	○	○	○
SQL Server 2005 Standard Edition	SP2/3	-	○	○	○	○	○	○
SQL Server 2005 Express Edition	SP2/3	-	○	○	○	○	○	○
SQL Server 2000	SP3a/4	○	○	○	-	○	-	-
MSDE 2000	SP3a/4	○	○	○	-	○	-	-
SQL Server 7	SP4	○	○	-	-	-	-	-
MSDE 1.0	SP4	○	○	-	-	-	-	-
Oracle Database Standard Edition One	-	-	○	○	○	x	x	x
Oracle Database 10g Express Edition	-	-	○	○	-	-	-	-

※Oracle Databaseをご利用の場合は、Windows 2000のSP4以上、Windows 2003のSP2以上の適用が必須です。  
 Oracle Database 10g Express Editionは、統合マネージャに対応していません。  
 Oracle Database 10g Express Editionはサブマネージャ専用サーバのデータベースとしてご利用ください。  
 SQL Server 2005 Standard Edition、SQL Server 2005 Express EditionのSP3には、Ver6.2.0.0より対応しています。  
 SQL Server 2008 Standard Edition、SQL Server 2008 Express EditionのSP1には、Ver6.4.0.0より対応しております。

〈SQL Server/MSDEのServicePack/バージョン確認方法〉

- SQL ServerもしくはMSDEがインストールされているマシン上でコマンドプロンプトを起動します。
- 以下のコマンド文を実行してください。

```
osql -E
1> select @@version
2> go
```

- 実行後、以下のような結果が返ってきます。

```
例) Microsoft SQL Server 2000 - 8.00.760 (Intel X86)
Dec 17 2002 14:22:05
Copyright (c) 1988-2003 Microsoft Corporation
Standard Edition on Windows NT
5.1 (Build 2600: Service Pack 2)
```

- 上記3. の「8.00.760」に着目してください。この値でデータベースのバージョンが確認できます。以下の表をご参照ください。また、SQLServer2000/MSDE2000は、バージョン8.00.760、8.00.2039の適用が、SQL Server 2005は9.00.3042、9.00.4035の適用が推奨環境となります。

データベース	Service Pack	-
SQL Server 2008	SP1	10.0.2531.0
SQL Server 2005	SP2	9.00.3042.00
	SP3	9.00.4035.00
SQL Server 2000 MSDE 2000	SP1	8.00.384
	SP2	8.00.534
	SP3	8.00.760
	SP3a	8.00.760
	SP4	8.00.2039
SQL Server 7.0 MSDE 1.0	SP1	7.00.699
	SP2	7.00.842
	SP3	7.00.961
	SP4	7.00.1063

〈MSDE2000 SP4 適用時の注意点〉

MSDE2000のSP4インストール前にディスクにアーカイブファイルを展開した後、そのままSETUP.EXEを実行すると「指定されたインスタンス名が無効です。」とエラーメッセージが表示され、インストールが終了してしまう場合があります。

その際は、コマンドプロンプトを起動し、以下のコマンド文を入力してSP4を適用してください。  
 コマンド実行後、インストールが始まります。

- ① コマンドプロンプトの画面で「chdir C:\sql2ksp4\MSDE」というコマンドを入力してエンターを押します。  
 (初期設定で「C:\Documents and Settings\Administrator」などと表示されている場合があるので、「C:\sql2ksp4\MSDE」に変える作業です。)  
 \* 「chdir」のあとには「sql2ksp4」がインストールされているドライブとパスを入力してください。
- ② その次に「SETUP /upgradesp c:\sql2ksp4\msde\setup\sqlrun01.msi sapwd="motex"」を入力してエンターを押すことでSP4のセットアップが始まります。  
 \* saのパスワードがblankの場合は、②の記載が変わります。  
 「SETUP /upgradesp c:\sql2ksp4\msde\setup\sqlrun01.msi blanksapwd=1」  
 というように「sapwd="motex"」が「blanksapwd=1」となります。

以上になります。

#### <Oracle Databaseのバージョン確認方法>

1. Oracle DB Standard Edition OneもしくはOracle DB Express Editionがインストールされているマシン上でコマンドプロンプトを起動します。
2. 以下のコマンド文を実行してください。

```
sqlplus system/[Oracle DBインストール時に入力したパスワード]  
SQL>select * from v$version;
```

3. 実行後、以下のような結果が返ってきます。

例)BANNER

```
-----  
Oracle Database 10g Release 10.2.0.4.0 - Production  
PL/SQL Release 10.2.0.4.0 - Production  
CORE 10.2.0.4.0 Production  
TNS for 32-bit Windows: Version 10.2.0.4.0 - Production  
NLSRTL Version 10.2.0.4.0 - Production
```

4. 上記3のOracle Database 10g Releaseの「10.2.0.4.0」に着目してください。

データベース	-
Oracle Database 10g (Release 2) Standard Edition One	10.2.0.4.0
Oracle Database 10g Express Edition	10.2.0.1.0

#### <Oracle Databaseを使用する際の注意点>

Oracle Databaseは、弊社より提供させていただくインストーラでインストールしてください。

弊社から提供するOracle Database のみをサポート対象としております。

市販、または他社提供のOracle Databaseでは動作保障しておりません。

現在、弊社より提供しておりますOracle Database 10g (Release 2) Standard Edition Oneのバージョン

は、「10.2.0.4」となります。また、Oracle Database 10g Express Editionのバージョンは、「10.2.0.1.0」

となります。